



労働・人権	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	AI(Chat GPT等)を活用して業務効率の改善を図っている。 ※実施例) ・企画書制作にChatGpt、StableDiffusionを利用し、制作時間を大幅に短縮。 ・市場調査にChatGptを利用し、調査時間を大幅に短縮。 ・キャラクター事業における広報活動としてSNSアカウントを20アカウント以上運用しているが、CanvaやStableDiffusionなどのツールを利用し大幅に作業時間を短縮。							8	9.1		11	12																						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																	12																	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	事業所内で発生する廃棄物は種類ごとに分別し、専門業者に委託して適切に処理・リサイクルをしている。												3.9				6.3				11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	「再エネ100宣言RE Action」の参加企業である。2050年までに再エネ電力割合100%達成を目指し、自社ビル社屋である屋上に太陽光パネルを設置する準備を進めている。																							13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	前述の「再エネ100宣言RE Action」の取り組みの一環で、再生エネルギーを購入し、排出量の削減に取り組んでいる。また、社内のライトは全てLEDにしている。													2.4										12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	定期的に会社周辺の清掃活動を行い、生物多様性の保全に取り組んでいる。																								14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	プラスチック製品の使用量の削減や紙製への切り替えを推進している。																								12.2	12.4	12.5	14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	習慣的な節水対策として、従業員にはトイレや水道使用時の節水意識を心がけるように呼びかけており、水使用量の削減に取り組んでいる。また、節水型トイレを設置して節水に取り組んでいる。													2.4											11.5		14.1	14.2	14.3	15	17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	グリーン購入の推進や環境ラベル認証を取得した製品の優先購入や、再生材料を使用した製品の調達に取り組んでいる。																									12.4	12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	消費者側の取り組みとして、賞味期限を確認し、重複購入や無駄にならないよう必要な量だけ食品購入している。																									12.3		14	15		17			
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●																										11.6	11.7		13.1	13.3	15	17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・「再エネ100宣言RE Action」の参加企業であり、再生可能エネルギーを活用している。 ・事務所内の照明はLEDライトを使用している。																									11.5		13.1	13.3					
32	【森林資源の循環利用に向けた取り組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取り組みを推進している。	●																											11.3	11.4	11.5	12.2	13		15		
33	【植林等の取り組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																											11.3	11.4	11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																												12.2	12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																													9.4		11.2		13.1	13.3	
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取り組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																																			17.2

